

【様式1-1】

倉吉市 橋梁長寿命化修繕計画

平成31年1月

倉吉市 建設部 建設課

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

わが国の道路は、戦後本格的に整備が行なわれ、特に、高度成長期に急ピッチで整備されたことから、それらの道路施設も建設後50年以上迎え、様々な損傷が現れるようになった。

倉吉市内の橋梁も例外ではなく、平成28年度において建設後50年を経過する橋梁は長寿命化修繕計画対象橋272橋のうち52橋（19%）であるが、20年後の平成48年度には、195橋（72%）となり大幅に増加する。

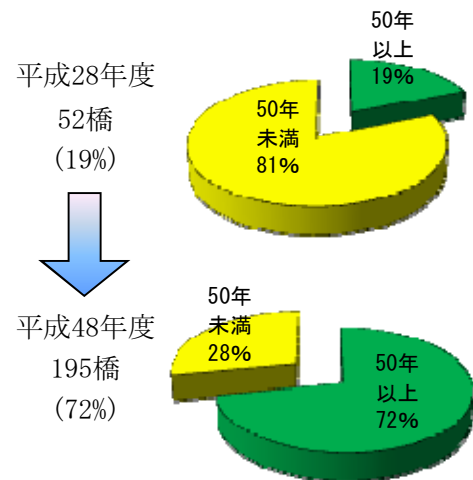


図-1 建設後50年を経過する高齢化した橋梁数の推移

2) 目的

このような状況から、今後橋梁の高齢化が急速に進み、架け替えが多数必要になる時期がやってくると考えられる。したがって、定期点検によって既設橋梁の損傷度を把握し、予防保全を行なうことによって橋の長寿命化を実現させ、橋梁修繕費の縮減適正化を進めていく必要がある。

3) 計画期間

計画期間は平成28年度(2016)～平成77年度(2065)までの50年間とします。

そこで、橋梁の長寿命化修繕計画を策定し、倉吉市内における橋梁の長寿命化および修繕費の縮減を図ることを目的とする。

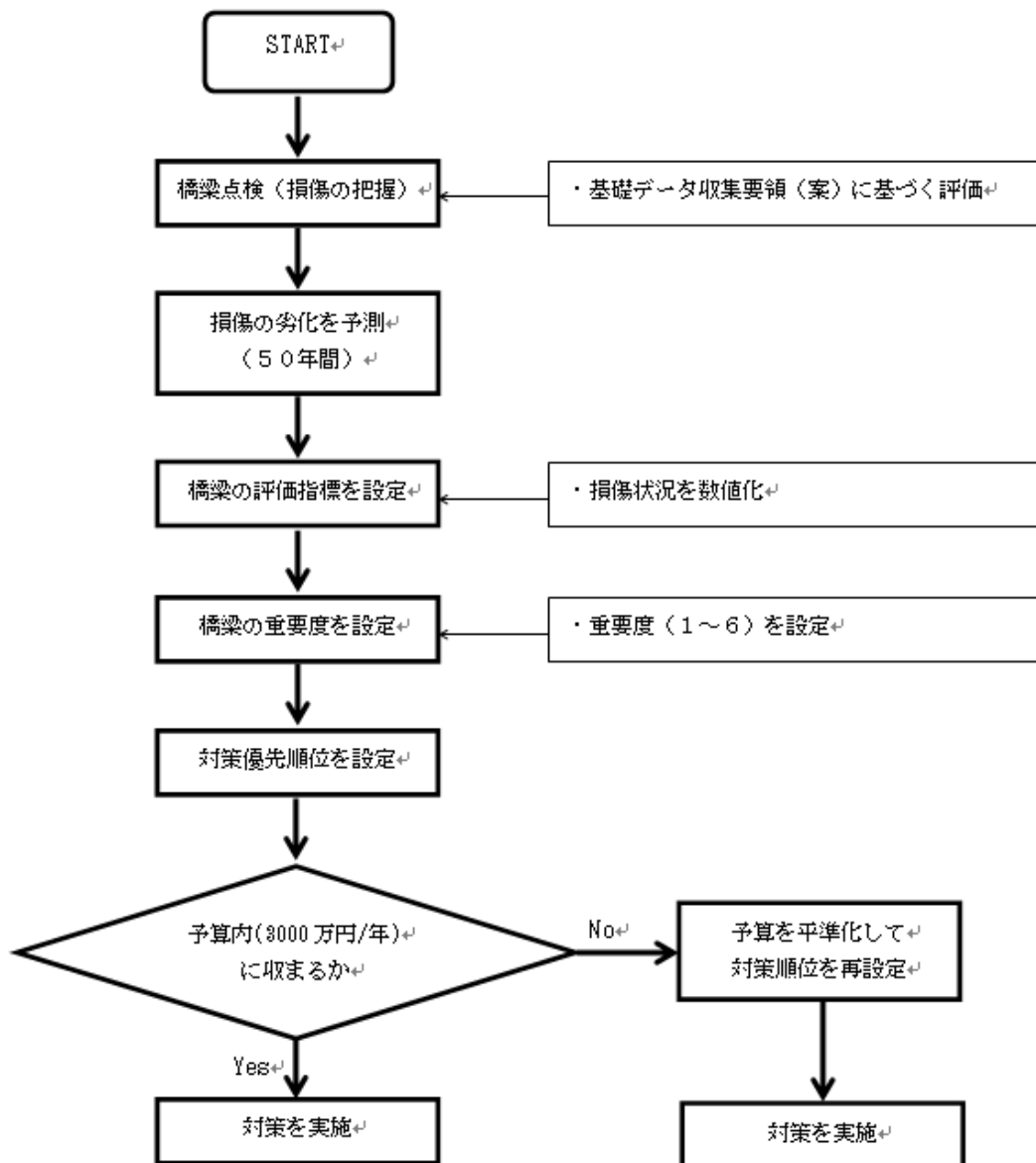
2. 橋梁の長寿命化の手段

損傷が進み通行が困難になってから修繕を行う従来の考え方では、将来にわたって安全で安心できる道路橋を保全することは財政的に困難であると考えられる。計画的に橋梁点検や、損傷が小さいうちに修繕を行う予防保全を推進することにより、橋梁の長寿命化を図ることができ、将来の安全で安心できる道路橋の確保を達成する適切な手段となる。

3. 対策優先順位の決定（年度別の補修橋梁選定）

損傷度および橋梁の重要度に応じて、橋梁別に優先順位を決定する。対策費が予算（3,000万円/年）を超過する場合は、予算内に収まるよう順位を調整する。

① 長寿命化対策決定フロー



③ 予算の平準化

前項で述べたとおり、対策費が予算を超過した場合、予算の平準化を行う。

- ・ 予算内の場合は、対策優先順位通りに実施する。
- ・ 予算を調査する場合は、優先順位を考慮した上で、次年度以降へ繰り越す。
- ・ 予算が余る場合は、次年度予定を前倒しする。

④ 橋梁の重要度

対策順位決定のため、橋毎の重要度を設定する。道路等級・幅員・国道・県道へのアクセス性・迂回路の有無・公共施設等・地域的要素の5項目を踏まえて、橋梁の重要度（1～6）を設定する。重量度区分は、対象項目の●数により行う。但し、地域的要素●が関係する場合は、「重要度1」とする。

各評価項目の定義を下表に示す。

表-2-4-2 重要度評価項目一覧

項目	定義
道路等級	該当する橋梁が位置する町道の等級
幅員	該当する橋梁の幅員
アクセス性	該当する橋梁または路線が、国道・県道へアクセスするか。アクセスしている場合は交通量が多いと考え、重要度が高い。
迂回路の有無	迂回路が、当該橋梁以外にあるかどうか。迂回路がない場合、代換え道路が確保できないため、重要度は高くなる。
公共施設等	当該橋梁が、公共施設(学校や通学路等)へのアクセスを担っているかどうか。
地域的要素	当該橋梁がなければ、周辺住民の生活に支障が出るかどうか。または周辺住民への密着度。(迂回路はあるが遠く離れており、橋がなければ周辺住民への影響が大きい等)

重要度区分と橋梁数			
重要度区分		備考	橋梁数
高 ↑ ↓ 低	1	●→4個以上及び地域的要素●	87
	2	●→3個	13
	3	●→2個	24
	4	●→1個	54
	5	●→0個以上で地域的要素●	3
	6	●→0個	91
合計			272

4. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	市道
全管理橋梁数	601
うち計画の対象橋梁数	272
これまでの計画策定橋梁数	98
新たに平成27年度に追加計画策定した橋梁数	174
長寿命化修繕計画の対象：	
<ul style="list-style-type: none">・ 緊急輸送路に位置する橋梁・ 桁下に道路がある橋梁・ 観光地へのアクセス道路に位置する橋梁・ バス路線に位置する橋梁・ 市町村間を結ぶ路線に位置する橋梁・ 国道、主要地方道へのアクセス路線に位置する橋梁・ 近隣に重要な施設がある橋梁	

次項に、「長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表」を示す。

5. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度の把握の基本的方針 損傷度の把握については、「道路橋に関する基礎データ収集要領（案）平成19年5月国土交通省」に基づいて定期的に橋梁点検を実施し、橋梁の損傷を早期に把握する。
2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針 橋梁を良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロール・清掃などの実施を徹底する。

6. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

損傷度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針とともに、予防的な修繕等の実施（予防保全型）を徹底することにより、修繕・架替えに関わる事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、コスト縮減を図る。
--

7. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

次項に示す「様式1-2」による。

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
1	大塚橋	清谷大塚線	268.35	4.35	9	単純鋼桁橋	1962	54	路面	路面の凹凸	有	路面に20mmの凹凸がみられる。	車両の通行にし支障を与える可能性があるため、路面修繕を行う必要がある。
									鋼部材すべて	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
2	上余戸橋	大原山根線	16.50	4.00	1	単純鋼桁橋	1971	45	主桁、横桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
3	大原橋	円谷町大原線	184.42	12.00	6	単純PCT桁橋	1994	22	床版	床版ひびわれ	C	張り出し部の打ち継ぎ目より遊離石灰が見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
4	うぐいす橋	みどり町6号線	24.70	6.00	3	斜材付きπ型ラーメン橋	1988	28	A1橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	A1橋台に垂直ひびわれ、遊離石灰が発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。(平成29年度補修済み)
5	上福田橋	上福田半坂線	50.29	6.00	3	単純鋼桁橋	1962	54	枝桁	腐食	D	橋座付近において一部に板厚減少が見られる	鋼材の板厚減少が見られるのは枝桁の橋座付近である、補修対策は必要であるが、定期的な点検などの追跡調査を行い損傷状況の進行の有無を確認し再塗装等の補修を行う必要がある。(平成29年度補修済み)
6	東橋	中河原長坂線	153.00	9.75	5	単純PCT桁橋	1987	29	横桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版との接合部より遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
									橋台、橋脚	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	0.1～0.2mmのひびわれ、遊離石灰の発生	
7	生竹橋	生竹関金線	149.50	3.00	6	単純PCT桁橋	1963	53	無	無	A	損傷なし	無
8	野添橋	野添1号線	16.67	3.60	1	単純鋼桁橋	1960	56	主桁、横桁	腐食	D	主桁下フランジに、局所的な板厚減少を伴う錆が発生している	損傷状況から補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。防護柵は第三者被害予防措置の面から速やかな補修が必要である。(平成25年度補修済み)
									防護柵	変形・欠損	有	左防護柵の終点部の支柱が傾き、パイプが欠損している	
9	第一野添橋	野添1号線	33.13	5.50	3	単純RCT桁橋	1962	54	路面	路面クラック	有	舗装に5.0mmのひびわれ	3径間の路面中央部に橋軸方向の幅5.0mmのひびわれが発生し、桁下にひびわれがみられ漏水し遊離石灰がみられる状態である。詳細調査を実施し、補修対策を講じる必要がある。
									床版	床版ひびわれ	D	0.1mm程度のひびわれが発生し、遊離石灰が見られる	
10	坂ノ下橋	野添1号線	46.36	5.50	2	単純PCT桁橋	1974	42	路面	ひびわれ	有	橋軸方向に直角なひびわれが発生している	起点部はコンクリート路面がひびわれブロック化している、現在は床版への影響は見られないが、車両の通行に支障を与える可能性があるため、路面修繕を行う必要がある。
11	野津見橋	野添1号線	29.91	5.00	1	単純PCT桁橋	2002	14	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	0.1～0.2mm程度の垂直ひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
12	新野添橋	野添1号線	23.04	5.00	1	単純鋼桁橋	2002	14	主桁、横桁	腐食	C	耐候性鋼材にうろこ状の錆が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
13	向山大橋	堺町3丁目三明寺線	164.00	4.80	5	単純PCT桁橋	1982	34	A1橋台、P1橋脚	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	A1橋台、P1橋脚にひびわれ、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
14	悴谷橋	中野悴谷線	17.51	5.03	1	単純鋼桁橋	1972	44	主桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
15	汗干橋	大河内汗干線	16.60	5.00	1	単純PC床版橋	2001	15	無	無	A	損傷なし	無
16	陰橋	服部上条線	33.29	7.13	2	単純鋼桁橋	1976	40	鋼部材すべて	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
17	榎実口橋	服部上条線	24.58	4.00	1	単純鋼桁橋	1969	47	主桁、横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
18	福積橋	福積沢谷線	37.00	4.00	2	単純鋼桁橋	1971	45	主桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
19	般若橋	岡般若線	30.00	5.00	1	単純鋼桁橋	1997	19	無	無	A	損傷なし	無
20	陰橋	岡1号線	24.45	4.00	1	単純鋼桁橋	1981	35	主桁	腐食	C	表面的な錆びが全体に発生している。	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
21	立見橋	横手立見線	15.51	5.00	1	単純PC床版橋	1980	36	床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
22	不入岡橋	西倉吉町不入岡線	90.50	3.00	4	単純鋼桁橋	1974	42	主桁	腐食	C	表面的な錆びが全体に発生している。	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。(平成26年度補修済み)
23	大宮橋	小鴨大宮線	27.42	4.00	1	単純PCT桁橋	1980	36	無	無	A	損傷なし	無
24	下条橋	住吉三江線	35.24	5.00	2	単純鋼桁橋	1986	30	主桁、横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。(補修済み)
25	橋詰橋	清水線	34.03	10.00	1	単純PCT桁橋	2003	13	無	無	A	損傷なし	無
26	浅井橋	浅井線	22.00	4.00	1	単純鋼桁橋	1966	50	床版	鉄筋露出	有	張り出し床版と地覆の境の水切り部分にかぶり不足による鉄筋露出が見られる。	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
27	浅井3号橋	浅井線	14.93 (16.10)	5.50	1	単純RCT桁橋 (単純PC床版橋)	不明	-	路面	路面の凹凸	有	起点側段差 900×100×30、終点側段差 2500×150×50	伸縮装置上のアスファルト舗装が剥離している状態で、桁下に漏水跡がみられる。原因は不明だが、車両の通行に支障を与える可能性があるため、路面修繕を行う必要がある。
28	崎山橋	崎山線	53.26	5.00	2	単純PCT桁橋	1999	17	床版	床版ひびわれ	B	0.1mm程度の橋軸方向に直角なひびわれが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
29	荒田橋	清水線	30.78	10.00	1	単純PCT桁橋	2004	12	橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	0.1～0.2mm程度の垂直ひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
30	大渡橋	清水線	32.60	4.00	2	単純RCT桁橋+ 単純鋼桁橋	1970	46	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	桁側面に垂直ひびわれが発生している。	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。(補修済み)

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
31	権現堂橋	清水線	19.70	3.00	1	単純RCT桁橋	不明	-	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	支承上側面に0.3mm程度の鉛直ひびわれが発生し、遊離石灰がみられる	損傷状況から考えて、補修対策は必要であるが、損傷状況の進行の有無を確認し必要に応じて対策が必要である。
									下部工	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	両端に多数のひびわれが発生し遊離石灰がみられる	
32	下堀橋	下堀線	76.06	4.00	3	単純鋼H桁橋	1979	37	橋台、橋脚	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	0.1～0.2mmのひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
33	福原橋	福原線	35.49	5.00	2	単純PCT桁橋	1993	23	無	無	A	損傷なし	無
34	桑の木橋	小泉線	16.40	4.00	1	単純鋼H桁橋	1971	45	主桁	腐食	D	主桁下フランジに、局所的な板厚減少を伴う錆が発生している	損傷状況から補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。(補修済み)
35	赤岩橋	福原線	16.05	5.00	1	単純PCT桁橋	1984	32	無	無	A	損傷なし	無
36	新小泉橋	小泉線	26.02	4.00	1	単純鋼H桁橋	2008	8	無	無	A	損傷なし	無
37	北田川1号橋	海田西町1清谷町二丁目1号線	17.61	6.93	1	単純PCT桁橋	1990	26	A1、A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	A1・A2橋台中央部に垂直ひびわれが発生している。	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
38	北田川2号橋	海田西町1清谷町二丁目2号線	17.61	6.00	1	単純PCT桁橋	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
39	北田橋	上井羽合線	17.17	16.00	1	単純PC床版橋	1988	28	無	無	A	損傷なし	無
40	河北橋	河北散歩道	17.55	12.00	1	単純PCT桁橋	1991	25	横桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	ひびわれ及び主桁、床版との接合部から著しい遊離石灰がみられる。	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
41	北田川5号橋	福庭町1丁目1号線	17.60	3.00	1	単純PCT桁橋	不明	-	床版	床版ひびわれ	B	一方向ひびわれが発生している。	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
42	北田川6号橋(1号清谷橋)	上井清谷線	21.49	12.00	1	単純PCT桁橋	1992	24	床版	床版ひびわれ	C	ひびわれ0.1mm程度、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
43	北田川11号橋	福庭14号線	14.80	6.00	1	単純PC床版橋	1994	22	無	無	A	損傷なし	無
44	新玉川橋	見日町3号線	21.70	15.00	1	単純PCT桁橋	1982	34	無	無	A	損傷なし	無
45	新鴨川橋	鴨川町9号線	20.83	6.00	1	単純鋼H桁橋	1972	44	床版	床版ひびわれ	C	0.2mm程度のひびわれが発生し、遊離石灰が見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
46	宮川橋	宮川町6号線	19.97	17.00	1	単純PCホロー	1995	21	無	無	A	損傷なし	無
47	高城橋	上福田福積線	53.00	9.00	2	単純鋼H桁橋	1991	25	無	無	A	損傷なし	無
48	辰ヶ口橋	上福田福積線	40.89	6.60	3	単純RCT桁橋	1960	56	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	主桁01,02の端部(P1上)支承上から斜めに側面に幅0.2mmのひびわれが発生している	現時点では、急激な耐力低下につながらない損傷状況であるが、損傷場所が支承上であるため、詳細調査を実施し補修対策を講じる必要がある。
									主桁	鉄筋露出	有	P1上主桁01,02の側面支承上に鉄筋露出が発生している	
49	西郷橋	上余戸10号線	16.10	8.00	1	単純PCT桁橋	1982	34	PC定着部	PC定着部の異常	有	定着部のコンクリートにひびわれが発生し錆汁が見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
50	玉川橋	見日中央線	15.59	10.40	1	単純PC床版橋	1973	43	床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
51	昭和橋(田内橋)	昭和町2丁目見日町線	15.20	4.00	1	単純鋼H桁橋	1979	37	主桁、横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
52	富海2号橋(2号橋)	米田町富海線	19.56	4.00	1	単純鋼H桁橋	1971	45	主桁、横桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
53	米田橋	住吉町円谷町線	16.70	6.00	1	単純PC床版橋	1980	36	A1、A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	橋台前面に0.1～0.2mmの垂直ひびわれが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
54	玉川橋	宮川町5号線	19.32	7.70	1	単純PC床版橋	1992	24	無	無	A	損傷なし	無
55	小鴨橋歩道橋	小鴨橋歩道橋線	161.00	2.25	7	単純鋼H桁橋	1968	48	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	0.1～0.2mmのひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
56	観音堂橋	福富2号線	29.67	6.00	2	単純PCT桁橋	1973	43	床版	床版ひびわれ	B	0.05～0.1mmの橋軸直角方向のひびわれ	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。(補修済み)
57	福富橋	福富沢谷線	35.01	4.00	2	単純鋼H桁橋	1965	51	鋼部材すべて	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。(補修済み)
58	沢谷大橋	沢谷藤井谷線	21.50	4.00	1	単純鋼H桁橋	1965	51	主桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
59	杉野橋	杉野2号線	22.56	3.52	1	単純鋼H桁橋	1964	52	主桁	腐食	D	橋座付近において下フランジに、局所的な板厚減少を伴う錆が発生している	損傷状況から補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。(補修済み)
60	中島橋	中野1号線	19.84	3.53	1	単純PCT桁橋	不明	-	横桁	漏水・遊離石灰	C	床版との接合部に遊離石灰が見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
									床版	鉄筋露出	A	起点側端部に1箇所鉄筋露出が見られる	
61	上中島橋	中野志津線	17.54	5.00	1	単純鋼H桁橋	1964	52	主桁	腐食	D	主桁端部下フランジに、局所的な板厚減少を伴う錆が発生している	損傷状況から補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。(平成25年度補修済み)

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
62	石立橋	福本2号線	35.10	2.00	4	単純RCT桁橋	1960	56	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰 鉄筋露出	C 有	主桁側面に0.05～0.1mm程度の垂直ひびわれが発生している 2径間主桁01の起点側端部側に鉄筋露出が見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
63	犬島橋	福本福富線	30.64	3.60	2	単純鋼板桁橋	1966	50	主桁・横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
64	森1号橋	森1号線	25.07	2.30	2	単純PC床版橋	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
65	中坂橋	森2号線	16.50	3.50	1	単純PCT桁橋	不明	-	横桁	漏水・遊離石灰	C	床版との接合部より遊離石灰が発生している、ひびわれは見られない	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
66	中条橋	三江6号線	34.95	4.00	2	単純PCT桁橋	1981	35	無	無	A	損傷なし	無
67	森坂橋	森つつじが丘線	21.60	3.00	1	単純PC床版橋	2002	14	無	無	A	損傷なし	無
68	下河原橋	福富7号線	29.98	4.00	2	単純PC床版橋	1983	33	床版	床版ひびわれ	C	桁下の間詰め部に漏水・遊離石灰がみらる。	桁下の間詰め部に漏水・遊離石灰がみらるが、激しいものではない、緊急的な補修対策は必要ない、よって経過観察を行い必要に応じて補修対策を講じる必要がある。
69	妻ノ神橋	上福田妻ノ神線	60.15	3.50	2	単純鋼板桁橋	1977	39	防護柵 主桁、対傾構	破断 ボルトの脱落	有 有	左右防護柵の破断 ボルトの抜け落ち	腐食による左右防護柵の中央部に鋼材の破断がある。第三者予防措置の面から緊急に補修の必要がある。 損傷原因は高力ボルトの遅れ破壊の影響であると推測する。損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。ただし、脱落していないボルトについては、定期点検及びたき点検を実施して、追跡調査を行うことが必要である。
70	樋乃口橋	服部1号線	33.15	4.50	2	単純鋼H桁橋	1977	39	主桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
71	桜橋	桜大立線	19.20	2.50	3	連続トラス橋+ 単純H桁橋	不明	-	トラス	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
72	二反田橋	大立1号線	15.00	4.00	1	単純鋼H桁橋	1977	39	主桁、横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
73	河来見橋	河来見3号線	18.47	4.50	1	単純鋼H桁橋	1973	43	主桁、横桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
74	京の尾橋	岩倉3号線	18.84	4.00	1	単純PC床版橋	1981	35	A1、A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	A1、A2橋台のひびわれから遊離石灰が発生している。	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
75	広瀬1号橋	広瀬2号線	15.13	2.25	3	連続鋼H桁橋	不明	-	鋼部材すべて 防護柵	腐食	E	桁全体に板厚減少を伴う錆が発生している 左右防護柵に板厚減少が見られ欠損もある	損傷状況から速やかな補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。防護柵は第三者被害予防措置の面から取替えが必要である。
76	大鴨歩道橋	福山若土線	153.00	2.25	5	単純鋼H桁橋	1972	44	鋼部材すべて 橋台、橋脚	腐食 ひびわれ・漏水・遊離石灰	B C	一部に表面的な錆びが発生している 0.1～0.2mmのひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
77	金屋橋	金谷団地線	51.70	6.50	2	単純鋼H桁橋	1980	36	床版	床版ひびわれ	C	0.1mm程度の橋軸方向に直角なひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。(平成27年度補修済み)
78	本町1号橋	本町線	18.05	4.00	1	単純PC床版橋	不明	-	路面	路面の凹凸	有	A1橋台のバラベットの舗装がはがれている 600×350×20	原因は不明だが、車両の通行に支障を与える可能性があるため、路面修繕を行う必要がある。
79	佐野大橋	広瀬ヶ平線	154.00	4.60	3	単純鋼H桁+ 単純トラス橋	1971	45	床版、A2橋台	床版ひびわれ	C	0.1～0.2mmのひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。(平成26年度補修済み)
80	向河内橋	向河内線	38.45	3.00	2	単純RCT桁橋	1964	52	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	主桁下フランジに0.1mm程度の橋軸方向に直角なひびわれが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
81	天神河内橋	天神河内線	29.40	3.00	1	単純鋼板I橋	1976	40	主桁、横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
82	船ヶ谷橋	船ヶ谷線	22.50	3.50	1	単純鋼H桁橋	1969	47	主桁、横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
83	神社橋	堀神社線	46.93	4.00	2	単純鋼H桁橋	1976	40	橋台、橋脚	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	0.1～0.2mmのひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
84	清水橋	清水支線	20.74	5.00	1	単純PC床版橋	1994	22	無	無	A	損傷なし	無
85	清水奥橋	清水奥線	16.54	3.90	1	単純RCT桁橋	不明	-	横桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	ひびわれ0.1mm程度、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
86	飛渡橋	堤原線	15.62	3.00	1	単純PC床版橋	1979	37	床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
87	行司ヶ平橋	行司ヶ平線	22.48	3.00	1	単純鋼H桁橋	1972	44	主桁	腐食	E	桁全体に板厚減少を伴う錆が発生している	損傷状況から速やかな補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。(補修済み)
88	五十木橋	五十木線	23.47	3.60	1	単純鋼H桁橋	1969	47	主桁、横桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
89	野津見1号橋	野添1号支線	20.06	1.50	1	単純鋼H桁橋	1977	-	防護柵 主桁 鋼床版	変形・欠損 腐食 腐食	有 D D	左右防護柵腐食、右防護柵起点側のパイプ破損 主桁端部下フランジに、局所的な板厚減少を伴う錆が発生している 局所的な板厚減少を伴う錆が発生している	損傷状況から速やかな補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。防護柵は第三者予防措置の面から防護柵の取替えが必要である。

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
90	滝坂橋	滝坂線	19.34	2.20	2	単純鋼桁橋	不明	-	主桁	腐食	D	主桁下フランジに、局部的な板厚減少を伴う錆が発生している	車両通行止めのため補修は必要ないと判断する。
91	郡家橋	郡家滝川線	38.85	7.00	2	単純鋼桁橋	1988	28	鋼部材すべて	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
92	一ノ瀬橋	犬狭峠線	26.10	6.00	2	単純RCT桁橋	1961	55	路面	路面凹凸	有	起点側凹凸300×300×20、終点側凹凸800×100×20 中央部凹凸 800×450×20	伸縮装置上のアスファルト舗装が剥離している状態で、橋台、橋脚上横桁に漏水跡がみられる。原因は不明だが、車両の通行に支障を与える可能性があるため、路面修繕を行う必要がある。
93	大河原3号橋	大河原支線	15.28	4.00	1	単純PC床版橋	2001	15	無	無	A	損傷なし	無
94	南谷橋	本町大鳥居線	144.85	5.65	12	単純RC T桁橋	2000	16	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	主桁側面に垂直な、10mm程度のひびわれが発生している	G1桁の橋座幅が小さくなっているため、主桁直上への荷重は、回避すべきである。またG2～G4間の橋座張出部下端に連続したひびわれがある。したがって、早急な補修対策が必要である。
						橋脚	剥離・鉄筋露出	有	P5橋脚のG1桁の下に欠け及び鉄筋露出、G2～G4にひびわれが発生している				
95	南谷歩道橋	本町大鳥居線	144.85	2.00	6	単純鋼桁橋	1976	40	鋼部材すべて	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。(補修済み)
96	関金橋	本町大鳥居線	42.42	5.50	3	連続RCT桁橋	1937	79	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	主桁側面に0.1～0.2mm程度のひびわれが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。(平成26年度補修済み)
97	関金歩道橋	本町大鳥居線	42.40	2.00	3	単純鋼桁橋	1974	42	床版	ひびわれ	C	0.1mm程度の橋軸方向に直角なひびわれ、遊離石灰の発生	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。(平成26年度補修済み)
98	陽1号橋	陽線	6.85	6.80	1	RC床版橋+アーチカルバート	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
99	金谷1号橋	金谷線	13.63	3.10	1	単純PC床版橋	2000	16	床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
100	崎山1号橋	崎山線	4.25	6.63	1	単純RC床版橋+BOX	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
101	浅井2号橋	浅井線	12.00	4.00	1	単純RC T桁橋	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
102	矢谷1号橋	矢谷線	6.50	5.00	1	単純RC床版橋	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
103	水無瀬橋	福原線	10.47	4.00	1	単純PC床版橋	1981	35	路面	路面クラック	有	舗装に5.0mmのひびわれ5.0mmのひびわれ多数	桁下の遊離石灰は、コンクリート路面のひびわれから雨水等の浸透水の影響であると推定される、現時点では急激な耐力低下につながらない損傷状況であるが、桁下への浸透水を止める対策(路面補修)は必要である。
						床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している				
104	宮の向井橋	福原線	11.44	4.00	1	単純鋼桁橋	1991	25	主桁、横桁	腐食	C	腐食-c うろこ状の錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
105	鉄山橋	福原線	12.16	3.30	1	単純RCT桁橋	1956	60	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	E	主桁下フランジに幅0.2mm程度の橋軸方向ひびわれが発生し錆汁、遊離石灰が見られる	主桁下フランジに橋軸方向ひびわれが発生し、ひびわれから錆汁がみられる、鉄筋の膨張が推察される。G2主桁にはすでに鉄筋膨張による剥離・鉄筋露出も見られる。損傷状況から判断すれば、早急な補修が必要である。
						主桁02	鉄筋露出	有	主桁下フランジに鉄筋露出が見られる、鉄筋は腐食し断面減少も見られる				
						床版	床版ひびわれ	C	0.1～0.2mm程度のひびわれが発生し、遊離石灰が見られる				
106	高谷橋	福原線	11.50	4.00	1	単純鋼桁橋	1979	37	無	無	A	損傷なし	無
107	中小屋橋	福原線	8.02	4.00	1	単純PCT桁橋	1991	25	無	無	A	損傷なし	無
108	大根木橋	福原線	7.50	4.00	1	単純RC床版橋	1980	36	無	無	A	損傷なし	無
109	東桂橋(東葛橋)	福原線	11.43	3.30	1	単純PC床版橋	1988	28	無	無	A	損傷なし	無
110	西桂橋(西葛橋)	福原線	9.40	3.30	1	単純PC床版橋	1988	28	無	無	A	損傷なし	無
111	奥田橋	小泉線	4.32	4.00	1	単純RC床版橋	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
112	御崎原橋	小泉線	8.52	4.20	1	単純RCT桁橋	不明	-	防護柵	腐食	D	左右ガードレール腐食・左ガードレール変形	第三者被害予防措置の面から防護柵取替えが必要である。
113	向山橋	小泉線	12.42	4.00	1	単純鋼桁橋	1973	43	主桁	腐食	E	桁全体に板厚減少を伴う錆が発生している	損傷状況から早急な補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。(平成24年度補修済み)
114	大畑橋	小泉線	12.42	4.00	1	単純鋼桁橋	1973	43	主桁、横桁	腐食	E	桁全体に板厚減少を伴う錆が発生している	損傷状況から早急な補修が必要である。桁全体における防食機能も劣化しているため、再塗装による改善が必要である。(平成23年度補修済み)
115	曾谷1号橋	曾谷越線	7.50	4.00	1	単純RCT桁橋	不明	-	横桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰のみ発生している。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
						路面	路面の凹凸	有	起終点の橋面境界にt=30mmの凹凸が生じている。				
116	大黒橋	大黒線	7.50	3.00	1	単純RCT桁橋	不明	-	床版	床版ひびわれ	C	排水パイプ周辺に遊離石灰のみ発生しており表面的な錆びも生じている。	排水パイプの劣化。
117	滝谷橋	滝谷線	7.60	3.00	1	単純RCT桁橋	不明	-	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	上部工からの漏水痕のみ生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
118	セコ橋	曾谷線	4.60	3.00	1	ボックスカルバート	1964	52	頂版	床版ひびわれ	B	一方向にひびわれのみが生じている。	頂版から側壁にかけての一方向ひびわれ。詳細調査を行い対策を行う。
						側壁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	幅0.3mmのみのひびわれが生じている。				

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
119	曾谷2号橋	内河内線	4.45	4.00	1	単純RC床版橋	不明	-	A1橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	E	ひびわれ、錆汁が発生している。	鉄筋の腐食と思われる。必要な対策を行う。
									A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版との境界部から幅1.0mmのひび割れを伴う遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
120	黒谷橋	黒谷線	3.40	4.00	1	アーチカルバート	不明	-	無	無	A	損傷なし。	-
121	川東1号橋	川東線	9.54	7.98	1	単純PC中空床版橋	不明	-	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	上部から水面に向けての一方ひびわれのみ生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
122	やびつ2号橋	矢櫃線	2.80	2.60	1	アーチカルバート	不明	-	無	無	A	損傷なし。	-
123	大河原1号橋	大河原下線	7.73	5.68	1	単純RC床版橋	不明	-	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	下部工にひびわれ、遊離石灰が生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
124	大河原2号橋	大河原下線	6.00	4.47	1	単純RC床版橋	不明	-	床版	床版ひびわれ	C	幅1.0mmのひびわれを伴った、遊離石灰が生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
125	新大河原橋	大河原線	9.40	4.30	1	単純PC床版橋	不明	-	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰のみ生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
126	大河原5号橋	大河原線	11.63	3.03	1	単純RCT桁橋	不明	-	路面	路面の凹凸	有	起点側、境界部中央凹凸、ひびわれが生じている。	橋面舗装の劣化。
									主桁・床版	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	桁端部からの遊離石灰を伴うひびわれが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									支承	支承の機能障害	有	板厚減少を伴う著しい腐食が生じており、一部浮き上がりの損傷が生じている。	漏水、経年劣化。
127	坂ノ下橋	米富支線	10.95	3.03	1	単純鋼H桁橋	1985	31	主桁	腐食	B	部分的な腐食が発生している。	材質の劣化。
128	米富7号橋	25	6.00	4.04	1	単純RC床版橋	不明	-	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	広範囲に漏水痕が発生している。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
129	ツエノケ橋	要害線	13.13	4.03	1	単純PC床版橋	2000	16	路面	路面の凹凸	有	30mm前後の凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
									主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰のみ生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
									床版	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	主桁継ぎ目から遊離石灰のみ生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
130	谷奥橋	谷奥線	4.60	4.00	1	単純RC床版橋	不明	-	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	広範囲に漏水痕のみ生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
131	和谷橋	和谷線	4.90	5.07	1	ボックスカルバート	不明	-	頂版	床版ひびわれ	C	ひびわれ(0.2mm未満)を伴う遊離石灰が生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									側壁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	側壁中央部にW=0.2mm以上のひびわれのみ生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
132	原橋	原線	5.00	4.00	1	単純RC床版橋	不明	-	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版目地部よりしみ程度の漏水が生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
133	中峰橋	今坂谷線	11.40	4.04	1	単純鋼I桁橋	1974	42	主桁	腐食	C	表面的な錆が広範囲に生じている。	材質の劣化。
									横桁	腐食	C	表面的な錆が広範囲に生じている。	材質の劣化。
									床版	床版ひびわれ	D	幅0.4mm前後の一方ひびわれのみ生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
134	塔谷2号橋	塔谷線	7.05	4.00	1	単純RC床版橋	不明	-	床版	鉄筋露出	A	鉄筋露出が発生しているが、部分的であるため鉄筋露出は無とする。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
135	塔谷3号橋	塔谷線	8.50	4.30	1	単純PCT桁橋	不明	-	路面	路面の凹凸	有	路面全体に堆積が見られる。	前後車両通行痕無し。
									主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	主桁下部に一方にひびわれ、浮きが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
136	ヒイガ谷1号橋	鍛冶屋線	5.05	4.05	1	単純RC床版橋	不明	-	路面	路面の凹凸	A	目地部から舗装へのひびわれが生じている。	橋面舗装の劣化。
									A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	鉄筋パイプが出ている穴よりひびわれからの遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
137	ヒイガ谷2号橋	鍛冶屋線	5.10	4.05	1	単純RC床版橋	不明	-	路面	路面の凹凸	有	橋面との境目に30mm程度の凹凸が生じている。	橋面舗装の劣化。
									A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	施工目地より漏水・遊離石灰が生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
138	ヒイガ谷3号橋	鍛冶屋線	4.90	4.05	1	単純RC床版橋	不明	-	路面	路面の凹凸	A	路面にひびわれ(幅1.0mm~3.0mm)有り。	橋面舗装の劣化。
									A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	幅0.4mmの遊離石灰を伴うひびわれが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
139	蛭山橋	村中線	12.40	4.00	1	単純鋼H桁橋	不明	-	主桁	腐食	C	主桁全体に表面的な錆が生じている。	材質の劣化。
140	代々橋	代々線	5.20	4.10	1	単純RC床版橋	不明	-	-	無	A	損傷なし。	材質の劣化。上部工荷重の影響。必要な対策を行う。

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
141	上代々橋	上代々線	7.00	4.05	1	単純RCT桁橋	不明	-	横桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	錆汁を伴う遊離石灰が生じている。	鉄筋の腐食と思われる。必要な対策を行う。
									A1橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	ひびわれを生じた遊離石灰が広範囲に生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。必要な対策を行う。
142	来見坂橋	来見坂線	6.30	2.52	1	単純PC床版橋	2013	3	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	目地部より漏水痕のみが生じている。	上部工荷重の影響。
143	米富1号橋	米富線	8.90	4.00	1	単純RCT桁橋	不明	-	支承	支承の機能障害	A	表面的な腐食が生じている。	漏水、土砂による劣化。経年劣化。
144	米富2号橋	米富線	10.80	4.18	1	単純PC床版橋	1983	33	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模なひびわれを伴ったうきが見られる。(0.05×0.2)	剥落の可能性が有るとされる。
145	矢櫃橋	犬狹峠線	5.00	10.52	1	単純RC床版橋	不明	-	床板	床版ひびわれ	B	ひびわれが有り異音の為、うきの状態だと思われる。	材質の劣化。上部工荷重の影響。必要な対策を行う。
									床版・A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版目地付近からの漏水・遊離石灰が発生している。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
146	郷原橋	郷原線	5.70	10.20	1	単純RC床版橋	不明		無	無	A	損傷なし	無
147	金屋橋	本町大鳥居線	5.00	5.20	1	単純RCT桁橋	1974	42	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	主桁下面縦方向ひびわれ有り。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
148	金屋橋測道橋	本町大鳥居線	8.40	1.15	1	単純鋼H桁橋	1974	42	主桁	腐食	D	主桁端部に局部的だが板厚減少を伴う錆が生じている。	漏水、土砂による劣化。
									路面	路面の凹凸	有	終点下流側に30mmのすきまがある。	橋面舗装の劣化。
149	大塚2号橋	大塚2号線	4.75	3.00	1	単純RC床版橋	1962	54	床版	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	豆板より遊離石灰が発生している。ひびわれ・漏水は見られない。	材質の劣化。上部工荷重の影響。必要な対策を行う。
150	大塚7号橋	大塚9号線	5.00	4.80	1	単純RC床版橋	1962	54	床版	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版中心部に遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
151	中江穴窪1号橋	中江穴窪線	5.00	4.60	1	単純RC床版橋	1967	49	床版	鉄筋露出	A	床版表面一部分に鉄筋露出が見られる。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
152	古川沢4号橋	古川沢1号線	2.67	3.73	1	単純RC床版橋	1962	54	路面	路面の凹凸	有	起終点側路面の剥離跡が見られそれに伴い凹凸が生じている。(30mm)	橋面舗装の劣化。
153	沢橋	福庭東福庭線	12.70	6.00	1	単純PC床版橋	1995	21	床版	鉄筋露出	A	鉄筋露出が発生しているが、部分的であるため鉄筋露出は無とする。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
154	海田南町2号橋	海田南2号線	4.50	3.54	1	単純RC床版橋	1971	45	床版	鉄筋露出	A	鉄筋露出が発生しているが、部分的であるため鉄筋露出は無とする。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
155	天神橋	海田南町天神町線	4.80	6.38	1	ボックスカルバート	不明	-	無	無	A	損傷無し。	-
156	1号上井橋	上井海田東町線	6.45	7.00	1	単純RC桁橋	1992	24	床版	鉄筋露出	A	鉄筋露出が発生しているが、部分的であるため鉄筋露出は無とする。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
157	滝山橋	上井22号線	8.36	6.00	1	ボックスカルバート	1993	23	路面	路面の凹凸	有	10cm程度の陥没が有る。	橋面舗装の劣化。施工不良。必要な対策を行う。
									頂版	床版ひびわれ	C	格子状のひびわれのみ生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
158	上井15号橋	上井22号線	5.20	4.85	1	単純RC床版橋/ ボックスカルバート	1962	54	頂版	鉄筋露出	有	広範囲に鉄筋露出があり、腐食が生じている。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
									頂版	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	床板終点側に0.8×0.5のひびわれ・浮きが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
159	上井1号橋	上井8号線	5.50	5.00	1	単純PC床版橋	不明	-	無	無	無	損傷無し。	-
160	河北橋	上井18号線	11.10	4.03	1	ボックスカルバート	1992	24	頂版	床版ひびわれ	C	幅0.3mm程度の一方ひびわれが生じている	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									側壁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	幅0.3mm程度の一方ひびわれが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
161	河北橋	上井15号線	4.72	5.17	1	ボックスカルバート	1958	58	頂版	床版ひびわれ	B	幅0.3mm程度の一方ひびわれが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
162	北田川7号橋 (日下橋)	福庭8号線	13.77	5.60	1	単純PC床版橋	1992	24	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰が発生している。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
163	下条橋	福庭6号線	12.73	6.00	1	単純PC床版橋	1994	22	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	施工目地沿いに遊離石灰が発生している。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
164	北田川9号橋	福庭5号線	12.70	6.10	1	単純PC床版橋	1994	22	路面	路面の凹凸	有	20～30mm程度の凹凸が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
165	福庭中央橋	福庭中央線	12.90	6.00	1	単純PC床版橋	1994	22	路面	路面凹凸	有	起点橋台背面の側段差30mm	損傷原因は、橋台背面の締め固め不足によるものと推定する。橋梁本体に直接影響を及ぼす損傷ではないが、車両の通行に支障を与える可能性があるため、路面修繕を行う必要がある。
166	清水橋	福庭15号線	12.60	6.00	1	単純PC床版橋	1995	21	路面	路面の凹凸	有	路面の跡打コンクリートと舗装の継ぎ目に20mmの凹凸が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
167	清谷川1号橋	清谷町1丁目6号線	10.80	6.00	1	単純PC床版橋	1991	25	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版継ぎ目より遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
168	清谷川2号橋	上井羽合線	10.15	9.42	1	単純PC床版橋	1992	24	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版継ぎ目より遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
169	羽合用水10号橋	海田西町1清谷2丁目2号線	4.65	6.05	1	ボックスカルバート	1988	28	路面	路面の凹凸	有	側面上に30～35mmの凹凸が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
170	羽合用水13号橋	清谷12号線	5.00	4.05	1	単純RC床版橋	1994	22	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	支承目地部より漏水、遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
171	海田西町2号橋	上井清谷線	2.90	7.20	1	ボックスカルバート	1961	55	頂版	床版ひびわれ	B	ひびわれのみ生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									側壁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰のみ生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
172	若葉町1丁目1号橋	若葉町1丁目5号線	4.60	1.40	1	単純PC床版橋	1996	20	床版	床版ひびわれ	C	漏水・遊離石灰を伴う一方向のひびわれが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
173	若葉町1丁目2号橋	若葉町1丁目7号線	4.80	1.40	1	単純PC床版橋	1996	20	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	目地部からの漏水跡が確認できる。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
174	西倉吉町7号橋	西倉吉町7号線	5.00	6.00	1	ボックスカルバート	1996	20	頂版	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版継ぎ目より漏水跡のみが生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
									側壁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版継ぎ目より漏水跡のみが生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
175	栗尾2-1号橋	栗尾2号線	13.76	8.70	1	単純PC床版橋	1980	36	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	主桁端部と施工コンクリートの間に遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
176	栗尾2-2号橋	栗尾2号線	11.60	3.85	1	単純PCT桁橋	1980	36	床版	床版ひびわれ	B	幅の小さい一方向ひびわれが有る。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	補強ボルト周辺にひびわれ、遊離石灰が生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
177	上井12号橋	上井20号線	5.55	6.10	1	単純RC床版橋	1998	18	路面	路面の凹凸	有	路面目地部に15～30mmの凹凸が見られる。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
178	しあわせ橋	幸町下田中町線	13.65	17.00	1	単純PC床版橋	1987	29	無	無	A	損傷なし	無
179	中河原11号線1号橋	中河原11号線	6.20	18.80	1	ボックスカルバート	1998	18	側壁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	幅0.3mm程度のひびわれのみが見られる。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
180	八屋上井1号橋	八屋上井線	7.33	4.28	1	ボックスカルバート	1967	49	路面	路面の凹凸	A	10mm程度の凹凸、ひびわれが有る	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
181	八屋上井2号橋	八屋上井線	5.31	3.28	1	ボックスカルバート	1967	49	路面	無	A	損傷なし。	材質の劣化。
182	伊木5号橋	伊木7号線	5.20	5.00	1	単純RC床版橋	1969	47	路面	無	A	損傷なし。	地覆部剥離、橋面の劣化。
183	昭和1下田中1号橋	幸町下田中町線	12.50	16.10	1	単純PC床版橋	1980	36	床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
184	ふれあい橋	西倉吉生田線	14.15	7.60	1	単純PC床版橋	2003	13	路面	無	A	損傷なし。	橋面舗装の劣化。
185	伊木6号橋	伊木7号線	5.40	4.90	1	単純PCT桁橋	1962	54	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	支承方向からななめひびわれが生じて浮いている状態。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
186	伊木2号橋	伊木中央線	5.00	3.25	1	単純RC床版橋	1983	33	A1橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	横方向にひびわれが生じ周辺に遊離石灰が生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
187	伊木3号橋	伊木中央線	4.50	3.90	1	単純PC床版橋	1991	25	路面	無	A	損傷なし。	材質の劣化。
188	中河原6号橋	中河原24号線	6.10	14.10	1	ボックスカルバート	1998	18	頂版	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	下流部出口付近に小規模な遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
189	下余戸1号橋	下余戸中央線	5.40	5.25	1	単純RCT桁橋	1962	54	主桁	鉄筋露出	A	鉄筋露出が発生しているが、部分的であるため鉄筋露出は無とする。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
190	下余戸2号橋	下余戸中央線	5.00	4.75	1	単純RC床版橋	1962	54	床版	鉄筋露出	A	鉄筋露出が発生しているが、部分的であるため鉄筋露出は無とする。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
191	魚町橋	新町3丁目塚町3丁目線	7.56	2.98	1	単純PC床版橋	1998	18	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	著しい遊離石灰、漏水が前面に生じている。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
192	向山橋	三明寺西田内線	7.90	4.35	1	単純PC床版橋	1979	37	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	中央縦方向にひびわれがあり浮きの状態。遊離石灰有。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰が有る。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
193	上余戸1号橋	上余戸9号線	4.70	4.35	1	単純RC床版橋	1962	54	床版	鉄筋露出	A	鉄筋露出が発生しているが、部分的であるため鉄筋露出は無とする。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
194	学而橋	上余戸9号線	8.00	4.22	1	単純PCT桁橋	1953	63	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	ブロック状のうきが発生している。遊離石灰も見られる。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									床版	抜け落ち	有	ブロック化したコンクリートが鉄筋で繋がっている状態。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
195	上余戸栗尾1号橋	上余戸栗尾線	5.50	4.00	1	単純RC床版橋	不明	-	床版	床版ひびわれ	B	0.1～0.2mmの橋軸方向ひびわれ	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
196	栗尾1号橋	栗尾1号線	4.60	3.10	1	単純RC床版橋	1962	54	路面	路面の凹凸	有	30mm前後の凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
197	上井32号線1号橋	上井32号線	7.95	6.00	1	単純PC床版橋	不明	-	路面	無	A	損傷なし。	材質の劣化。
198	昭和町1丁目東巖城1号橋	昭和町1丁目東巖城町線	12.50	6.10	1	単純PC床版橋	1979	37	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰が有る。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
									A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	幅0.2mm以上のひびわれが一方向に有る。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
199	鴨川橋	西倉吉町6号線	12.25	5.65	1	単純PC床版橋	1990	26	路面	無	A	損傷なし。	材質の劣化。

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
200	駄経寺町2丁目円谷町1号橋	駄経寺2丁目円谷線	11.30	12.17	1	単純PC床版橋	1978	38	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	幅の大きいひびわれが生じている。漏水、遊離石灰が見られる。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									路面	路面の凹凸	有	20mmの凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
201	上灘町下田中町1号橋	上灘町下田中町線	12.40	6.00	1	単純PC床版橋	1978	38	路面	路面の凹凸	有	20mmの凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
202	米田団地2号橋	米田団地2号線	4.55	4.57	1	単純RC床版橋	1973	43	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	目地部からの遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
									路面	路面の凹凸	有	20mmの凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
203	東昭和町下田中町1号橋	東昭和町下田中町線	12.50	6.10	1	単純PC床版橋	1979	37	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	水平のひびわれが生じている。漏水、遊離石灰が見られる。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									路面	路面の凹凸	有	起点側に20mmの凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
204	昭和町3号橋	昭和町1丁目幸町線	12.00	2.00	1	単純鋼桁橋	1988	28	主桁	腐食	D	表面的な腐食が生じている。	材質の劣化
									床版	腐食	C	表面的な腐食が広範囲に生じている。	材質の劣化。
205	宮川1号橋	湊町宮川町線	12.10	4.55	1	単純PC床版橋	1988	28	路面	路面の凹凸	有	20mmの凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
206	荒神橋	東町塚町2丁目線	11.47	4.70	1	単純PC床版橋	1977	39	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰が有る。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
207	塚町1号橋(葵町塚町1号橋)	葵町塚町3丁目線	9.80	4.70	1	単純PC床版橋	1982	34	床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
208	八幡橋	鍛冶町1丁目八幡町線	6.10	5.80	1	単純RC床版橋	1967	49	A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版と橋台の隙間から軽微な遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
209	新町3塚32号橋	新町3丁目塚町3丁目線	8.40	3.03	1	単純PC床版橋	1979	37	床版	床版ひびわれ	C	桁端部に小規模な遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
									A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	幅3.0mmの水平なひびわれが生じている。漏水痕も見られる。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
210	用水橋	鍛冶町1丁目八幡町線	2.50	4.88	1	単純RC床版橋	1985	31	床版	鉄筋露出	A	床版端部に剥離、鉄筋露出がある。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
211	東巖城駄経寺1号橋	東巖城駄経寺町線	12.50	12.05	1	単純PC床版橋	不明	-	路面	路面クラック	有	起点終点の伸縮装置上のアスファルトに橋軸方向直角のひびわれが発生している	現時点では、橋体工に影響はないが、次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
212	田内団地1号橋	田内団地中央線	6.50	7.10	1	単純RC床版橋	1980	36	床版	床版ひびわれ	C	一方向にひびわれが生じ、遊離石灰が見られる。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
									A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	広範囲に遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
213	田内3号橋	田内中央線	5.63	2.10	1	単純RC T桁橋	不明	-	主桁01、02	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	支承上桁側面に鉛直に幅0.1mm程度のひびわれが発生している	損傷状況から考えて、補修対策は必要であるが、損傷状況の進行の有無を確認し必要に応じて対策が必要である。
214	田内2号橋	田内1号線	5.50	2.10	1	単純RC桁橋	1962	54	床版	鉄筋露出	A	一部に鉄筋露出が生じている。	剥落からの鉄筋露出と思われる。必要な対策を行う。
215	田内1号橋	田内4号線	5.55	5.06	1	単純RC床版橋	1962	54	床版	腐食	b	補強鋼部材一部腐食有り。	材質の劣化。
216	越中町余戸谷町橋	越中町余戸谷町線	6.90	3.02	1	単純PCT桁橋	1962	54	路面	無	A	損傷なし。	材質の劣化。
217	駄経寺町2米田1号橋	駄経寺町2丁目米田線	11.25	12.10	1	単純PC床版橋	不明	-	床版	床版ひびわれ	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
									A1、A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	0.2～0.8mmのひびわれ、遊離石灰が発生している	
218	三明寺5号橋	三明寺10号線	8.45	4.00	1	単純PC床版橋	1983	33	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
219	穴沢斎尾大沢1号橋	穴沢斎尾大沢線	6.05	3.55	2	連続RC版橋	1962	54	路面	路面の凹凸	有	1～30mmの凹凸が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
									床版	鉄筋露出	有	広範囲に剥離有り。鉄筋露出が有り広範囲にわたり腐食している。	剥落からの鉄筋露出。必要な対策を行う。
220	円城寺橋	別所穴沢線	13.16	4.02	1	単純PC床版橋	1988	28	路面	無	A	損傷なし。	材質の劣化。
221	北面1号橋	北面中央線	6.25	5.03	1	単純PC床版橋	1962	54	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
222	谷1号橋	谷中央線	4.50	4.22	1	単純RC床版橋	1962	54	路面	路面の凹凸	有	20～30mm程度の凹凸が生じている。補修痕有。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
									A1橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	B	幅0.4mmの短いひびわれのみ生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
223	谷2号橋	谷12号線	5.30	4.13	1	単純PCT桁橋	1962	54	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	L=0.5m程度の水平ひびわれが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
224	穴田1号橋	穴田中央線	7.56	4.60	1	単純RCT桁橋	不明	-	床版	床版ひびわれ	C	0.1mm~0.2mmのひびわれ・鉄筋露出も見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
									主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	橋軸方向に直角の0.1mmのひびわれ・鉄筋露出も見られる	
225	津原中央1号橋	津原中央線	5.40	4.00	1	単純RC床版橋	不明	-	床版	鉄筋露出	有	床版左側に鉄筋露出 1250×400、700×400、400×200	鉄筋が腐食し、鋼材断面の減少もみられる、他にもコンクリートの浮きが数箇所みられる。このままの状況であれば、上部構造の耐力低下につながる可能性があるため補修対策が必要である。
226	鋤津原橋	鋤津原線	7.50	4.65	1	単純RCT桁橋	1962	54	路面	路面の凹凸	有	起点側に20mmの凹凸が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
									床版	床版ひびわれ	B	ひびわれと連動したうきが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
227	北面大沢1号橋	北面大沢線	4.51	4.04	1	単純RC床版橋	1962	54	路面	路面の凹凸	有	路面目地部に盛り上がりの段差が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
228	野田北面1号橋	野田北面線	10.76	6.00	1	単純PC床版橋	不明	-	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	0.05~0.1mm程度の垂直ひびわれが発生し、遊離石灰が見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
229	秋喜工業団地1号	秋喜工業団地線	5.55	6.98	1	単純RC床版橋	2004	12	路面	路面の凹凸	有	終点側、目地材の露出で30mmの段差が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
230	野田北面2号橋	野田北面線	4.90	4.00	1	単純RC床版橋	不明	-	床版	床版ひびわれ	B	0.05~0.1mm程度のひびわれが見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
231	大谷8号線1号橋	大谷茶屋6号線	4.81	5.10	1	ボックスカルバート	不明	-	頂版	鉄筋露出	A	鉄筋露出が発生しているが、部分的であるため鉄筋露出は無とする。	剥落からの鉄筋露出。必要な対策を行う。
232	大谷茶屋6号線1号橋	大谷茶屋6号線	5.00	5.10	1	ボックスカルバート	不明	-	路面	路面の凹凸	有	目地部に20mm以上の凹凸が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
									側壁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	側壁上部に漏水跡が見られる。	材質の劣化。上部工荷重の影響。
233	上層敷橋	悴谷3号線	9.18	3.05	1	単純PC床版橋	1983	33	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	コンクリート目地沿いに遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
234	長谷橋	中野長谷線	8.40	4.40	1	単純PC床版橋	1990	26	無	無	A	損傷なし	無
235	大河内1号橋	大河内3号線	13.25	4.05	1	単純PC床版橋	1987	29	路面	無	A	損傷なし。	材質の劣化。
236	中野長谷2号橋	中野長谷線	4.06	5.70	1	単純RC床版橋	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
237	悴谷1号橋	悴谷2号線	9.76	2.45	1	単純鋼桁橋	1962	54	路面	腐食	D	防護柵取り付け部に板厚減少を伴う腐食が生じている。	経年劣化。
									床版	腐食	D	板厚減少を伴う腐食が生じている。	材質の劣化。
238	長谷2号橋	長谷2号線	8.87	3.01	1	単純PC床版橋	1985	31	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
239	三江1号橋	三江6号線	6.80	8.40	1	単純PCT桁橋	1962	54	主桁	無	A	損傷なし。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
240	小黒見橋	大河内つつじが丘線	11.43	3.50	1	単純PC床版橋	1965	51	無	無	A	損傷なし	無
241	汗千谷橋	汗千1号線	13.45	4.00	1	単純PCT桁橋	1990	26	路面	路面の凹凸	有	路面目地部35mm程度の隙間が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
242	汗千1号橋	汗千2号線	13.47	3.00	1	単純PC床版橋	1986	30	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	桁端部に遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
243	鎌谷橋	大河内2号線	11.88	4.05	1	単純PC床版橋	1987	29	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
244	悴谷2号橋	中野悴谷線	8.70	4.00	1	単純PC床版橋	不明	-	無	無	A	損傷なし	無
245	松尾橋	河来見大立線	13.06	4.00	1	単純鋼桁橋	1962	54	主桁、横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
246	福積岡1号橋	福積岡線	11.00	5.00	1	単純PC床版橋	1972	44	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	小規模な遊離石灰のみが生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
247	日奈橋	河来見2号線	11.80	2.55	1	単純PC床版橋	1993	23	路面	路面の凹凸	有	橋面との境目に25mm程度の隙間が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
248	上大立橋	上大立1号線	6.10	3.60	1	単純RC桁橋	1962	54	A1橋台	鉄筋露出	A	一部に鉄筋露出が生じている。	剥落からの鉄筋露出。必要な対策を行う。
249	鴨川南橋	西倉吉町鴨川町線	11.25	4.02	1	単純PC床版橋	1983	33	路面	路面の凹凸	有	起点目地部に20mmの凹凸。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
									A1,A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	目地部より漏水痕のみが生じている。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
250	福守橋	西倉吉町不入岡線	12.17	4.50	1	単純PC床版橋	1985	31	無	無	A	損傷なし	無
251	西倉吉町1号橋(岡田橋)	西倉吉町4号線	11.10	6.40	1	単純PC床版橋	1987	29	床版	鉄筋露出	A	小規模な鉄筋露出生じている。。	剥落からの鉄筋露出。必要な対策を行う。
252	丸山橋	丸山西倉吉町線	11.09	4.96	1	単純PC床版橋	1984	32	床版	無	A	損傷なし。	材質の劣化。

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

長寿命化修繕計画対象橋梁の点検結果一覧表(N=272橋)

番号	橋梁名	路線名	橋長	有効幅員	径間数	上部工形式	竣工年月	供用年数	代表的な損傷部位	代表的な損傷内容	損傷の判定区分	損傷状況	損傷に対する所見
253	第一西中橋	丸山町北野線	10.55	5.00	1	1径間単純PC床版橋	1981	35	路面	路面クラック	有	舗装ひびわれ 0.5mm～0.7mm	桁下の間詰め部に漏水・遊離石灰がみらるが、激しいものではない、下部工もひびわれが発生し遊離石灰もみられる、よって経過観察を行い必要に応じて補修対策を講じる必要がある。(平成29年度補修済み)
									床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	
									A1、A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	D	0.3～0.6mmのひびわれ	
254	丸山町北野2号橋	丸山町北野線	14.04	4.00	1	単純鋼H桁橋	不明	-	主桁、横桁	腐食	B	腐食b一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
									床版	床版ひびわれ	C	0.2mm程度のひびわれが発生し、遊離石灰が見られる	
255	生田1号橋	生田中央線	6.30	5.68	1	単純RC床版橋	1973	43	路面	無	A	損傷なし。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
256	生田2号橋	生田6号線	5.20	4.99	1	単純RC床版橋	1973	43	路面	路面の凹凸	有	20～50mmの隙間、剥離が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
257	学び橋	北野8号線	12.25	7.50	1	単純PC床版橋	2003	13	路面	路面の凹凸	有	橋面との境目に20mm程度の凹凸が生じている。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
258	生田西橋 (生田北野1号橋)	生田北野線	13.59	5.00	1	単純PC床版橋	1991	25	路面	路面クラック	有	起点終点の伸縮装置上のアスファルトに橋軸方向直角のひびわれが発生している	現時点では、橋体工に影響はないが、次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
259	中河原1号橋	中河原天神野線	11.14	4.00	1	単純PC床版橋	不明	-	地覆	変形・欠損	有	左地覆上面終点側防護欄支柱部分欠損	現時点では、防護欄に影響はないが、次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
260	中河原2号橋	中河原中央線	11.10	4.03	1	単純PC床版橋	1992	24	主桁	無	A	損傷なし。	上部工荷重の影響と思われる。必要な対策を行う。
261	小鴨古川2号橋	小鴨上古川線	4.50	4.20	1	単純RC床版橋	1962	54	路面	無	A	損傷なし。	経年劣化。
262	富海5号橋	富海中央線	11.47	4.00	1	単純PC床版橋	不明	-	床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
263	富海3号橋	富海中央線	11.42	4.00	1	単純PC床版橋	不明	-	床版	漏水・遊離石灰	C	間詰め部より漏水し、遊離石灰が発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。
264	中河原10号橋	中河原20号線	5.60	4.19	1	単純RC床版橋	1984	32	路面	路面の凹凸	有	20mmの凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
265	村ノ前橋	岩倉5号線	13.90	5.90	1	単純PC床版橋	1991	25	主桁	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	桁端部に漏水・遊離石灰が有る。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
266	城乃下橋	岩倉5号線	13.95	6.17	1	単純PC床版橋	1975	41	主桁・A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	桁端部や床版からの遊離石灰が有る。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
									路面	路面の凹凸	有	凹凸からのひびわれが有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
267	中田生竹1号橋	中田生竹線	7.00	3.05	1	単純PC床版橋	1990	26	下部工	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	広範囲にわたり漏水、遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
									路面	路面の凹凸	有	20mmの凹凸が有る。	橋面舗装の劣化。通行への支障となるため対策を行う。
268	剣見橋	若土中央線	13.50	4.00	1	単純鋼H桁橋	1971	45	主桁、横桁	腐食	C	表面的な錆びが広範囲に見られる	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。次回点検時に損傷状況の進行の有無を確認する必要がある。
269	耳池谷1号橋	耳池谷線	10.05	3.00	1	単純鋼H桁橋	1985	31	主桁	腐食	B	表面的な腐食が生じている。	材質の劣化。
									横桁	腐食	B	表面的な腐食が生じている。	材質の劣化。
									床版	腐食	C	端部の腐食が全体に広がっている。	材質の劣化。
270	広瀬7号橋	広瀬1号線	6.00	3.50	1	単純PC床版橋	2011	5	A1、A2橋台	無	A	損傷なし。	材質の劣化。
271	三明寺6号橋	三明寺6号線	7.35	10.80	1	単純RC床版橋	不明	-	A2橋台	ひびわれ・漏水・遊離石灰	C	床版との境界から広範囲の遊離石灰が生じている。	アルカリ骨材反応。詳細調査を行い、対策を行う。
272	二子橋	河来見3号線	14.50	4.50	1	単純鋼H桁橋	1973	43	防護欄	変形・欠損	有	左側防護欄中央部のパイプ接合部が腐食により切れている	第三者被害予防措置の面から防護欄の取替え等の対策が必要である。
									主桁、横桁	腐食	B	一部に表面的な錆びが発生している	損傷状況から考えて、速やかな補修対策は必要ないと判断する。

※ 赤字 : 補修完了
 ※ 損傷の判定区分 : Aは健全、Eは損傷が大きく進展した状態、B・C・Dはその中間を表す。
 ※ 損傷の判定区分『有』 : 長寿命化計画の判断基準に該当しない項目。Cランクに相当

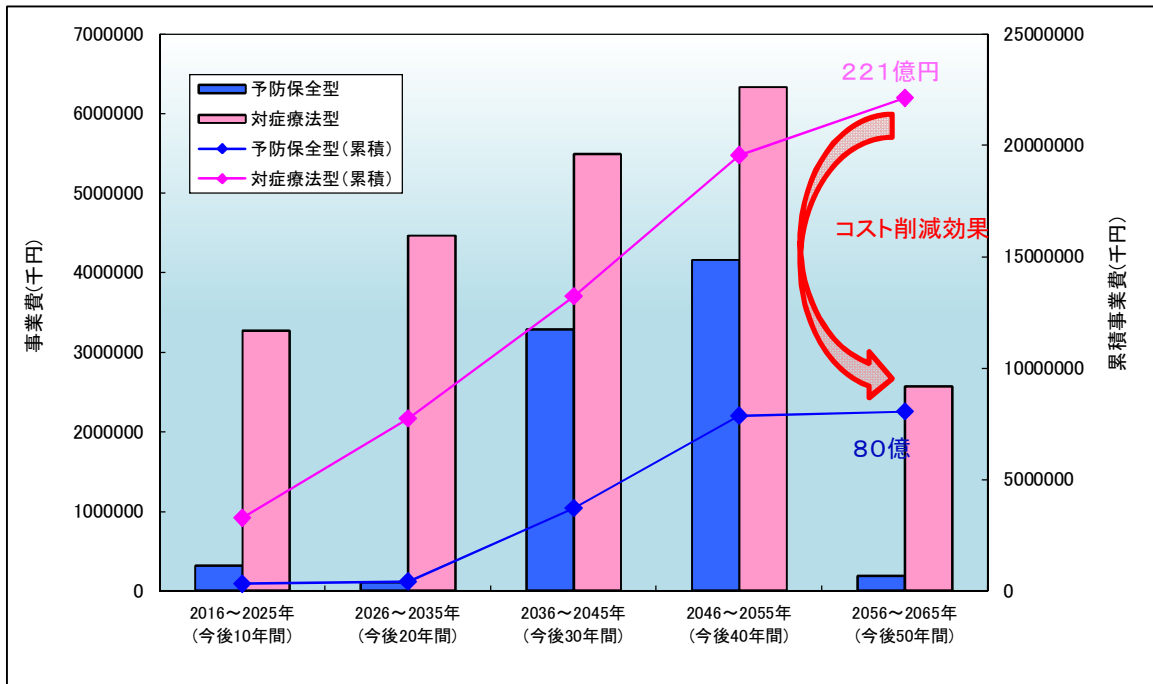
凡例 ←→ 対策を実施すべき時期を示す。

	橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	対策の内容・時期													
								H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37				
250	福守橋	市道	西倉吉町不入岡線	12.17	1985	31	H22														
251	西倉吉町1号橋	市道	西倉吉町4号線	11.1	1987	29	H27														
252	丸山橋	市道	清谷大塚線	11.09	1984	32	H27														
253	第一西中橋	市道	丸山町北野線	10.55	1981	35	H26	←→	橋台:断面修復等												
254	丸山町北野2号橋	市道	丸山町北野線	14.2	1984	32	H22	←→	橋台:断面修復等												
255	生田1号橋	市道	生田中央線	6.3	1973	43	H27														
256	生田2号橋	市道	生田6号線	5.2	1973	43	H27														
257	学び橋	市道	北野8号線	12.25	2003	13	H27														
258	生田西橋(生田北野1号橋)	市道	生田北野線	13.59	1991	25	H22														
259	中河原1号橋	市道	中河原天神野線	11.14	1984	32	H26														
260	中河原2号橋	市道	中河原中央線	11.1	1992	24	H27														
261	小鴨古川2号橋	市道	小鴨上古川線	4.5	1962	54	H27														
262	富海3号橋	市道	富海中央線	11.42	1984	32	H22														
263	富海5号橋	市道	富海中央線	11.47	1984	32	H22														
264	中河原10号橋	市道	中河原20号線	5.6	1984	32	H27														
265	村ノ前橋	市道	岩倉5号線	13.9	1992	24	H27														
266	城乃下橋	市道	岩倉5号線	13.95	1975	41	H27			←→	橋台:断面修復等										
267	中田生竹1号橋	市道	中田生竹線	7	1990	26	H27														
268	刃見橋	市道	若土中央線	13.5	1971	45	H22						←→	主部材:その他等							
269	耳池谷1号橋	市道	耳池谷線	10.05	1985	31	H27														
270	広瀬7号橋	市道	広瀬1号線	6	2011	5	H27														
271	三明寺6号橋	市道	三明寺6号線	7.35	1985	31	H27			←→	橋台:断面修復等										
272	二子橋	市道	河来見3号線	14.4	1973	43	H26													←→	主部材:その他等
合 計 (千円)								29,846	29,897	29,701	29,845	29,978	29,926	29,631	29,908	29,771	29,940				

7. 長寿命化修繕計画による効果

長寿命化修繕計画を策定する272橋について、今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が221億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が80億円となり、コスト削減効果は141億円となる。

また、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性・信頼性が確保される。

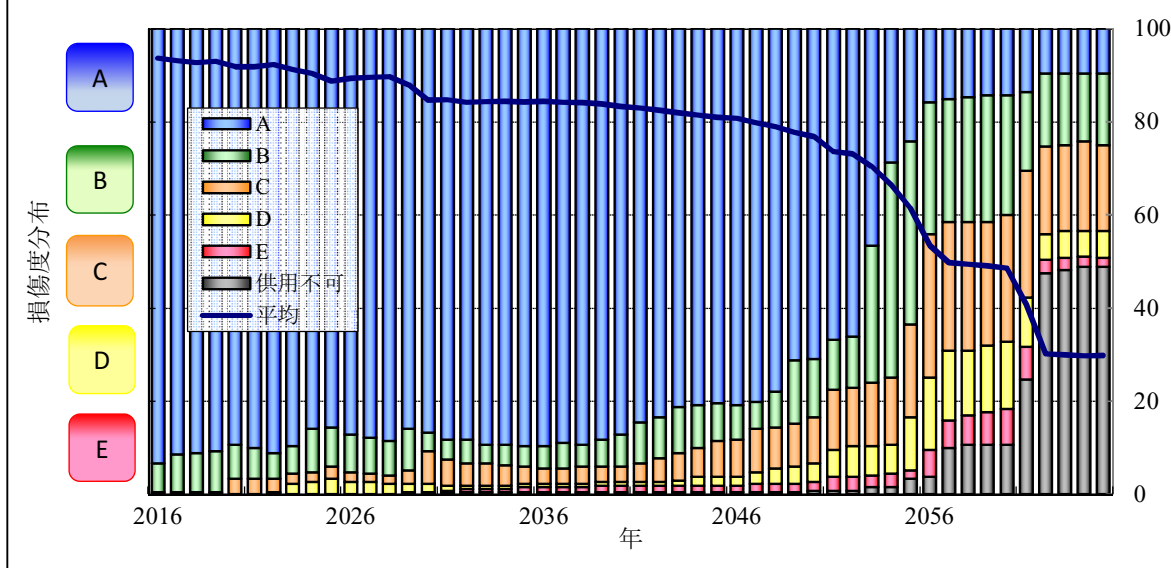


8. 対策費用

● 今後50年間における事業費、損傷度の推移



損傷度分布の推移



9. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署

倉吉市 建設部 建設課 tel : 0858-22-8169